

みんなの はたらくを デザインする

厚生労働省所管
独立行政法人
高齡・障害・求職者雇用支援機構

お問い合わせ先 / 〒261-8558 千葉県千葉市美浜区若葉3-1-2 総務部人事課

事務職 TEL.043-213-6567 障害者職業カウンセラー職 TEL.043-213-6098 職業訓練指導員 TEL.043-213-6129

✉ saiyou@jeed.go.jp

詳細はJEED
ホームページを
ご覧ください



JEEDで
働くうえでの
Q&Aはこちら



🔍 JEED 採用情報



JEED
CAREER
GUIDE

厚生労働省所管



独立行政法人
高齡・障害・求職者雇用支援機構



雇用支援のコーディネーター

事務職

INTERVIEW

事務職
(職業能力開発業務)

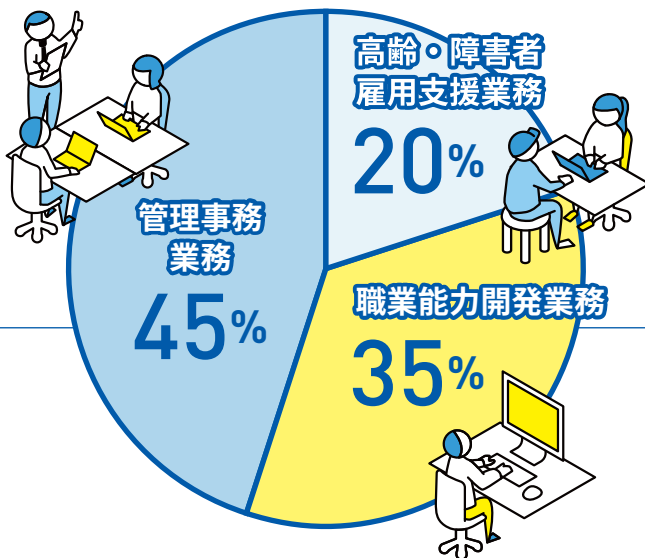


JEEDの事務職は、雇用支援のコーディネーターとして、「高齢・障害者雇用支援業務」「職業能力開発業務」「管理事務業務」を通じ、「あらゆるはたらく人、はたらかいたい人、企業」をサポートします。

事務職のジョブローテーション

事務職は、「高齢・障害者雇用支援業務」「職業能力開発業務」「管理事務業務」をジョブローテーションしながら、事務系総合職として雇用支援のエキスパートを目指します。

【事務職の配属割合】



など詳細はWEBへ



01 関係機関との実務連携

「求職者の安定就職」をゴールとし、サポートするのがJEEDの職業訓練ですが、この支援を必要とする方への確かな情報が届くよう広報活動を行います。具体的には、ハローワークなどの関係機関に出向き、相談部門の担当者と最近の求職者の希望職種やトレンド、訓練ニーズについて話し合います。地域の労働行政が一体となって進めていく面白さや、JEEDが誇る技術力を多くの方に届けているというやりがいを感じながら、広報活動を行っています。



02 利用者へのフィードバック

訓練修了者の就職先企業に出向き、訓練の感想や現在の職場での活躍について取材します。取材では、訓練修了者や就職先企業の採用担当へのインタビュー、仕事風景の撮影などを行い、その様子を記事にまとめ、各種媒体の広報資料として活用します。これから訓練受講を検討される方にとって、訓練修了者の体験談は安心感を与えます。また、企業担当者による訓練のフィードバックを聞くことは、今後の事業運営の参考にもなる有意義な取り組みです。



03 JEEDのスポークスパーソンとして

JEEDをより知ってもらうため、労働局やハローワーク、都道府県などの行政機関や関係機関、テレビ・ラジオ・新聞などのマスメディアにプレスリリースを行い、大規模会場を用いた「ものづくりイベント」を実施します。いかに予算の範囲内で行えるか運営団体と交渉することはもちろん、関係機関との総合調整、集客のための効果的な告知、広報ブースデザイン策定など、イベントの総括や広報物の制作ディレクション、当日運営など業務は多岐にわたります。



初任給モデル

大卒22歳、全国型で採用され、千葉県千葉市で勤務、賃貸住居に居住した場合の事務職の初任給モデルは右記の通りです。
(2026年4月新規採用者(大卒)の例)





障害者雇用を支援・推進する

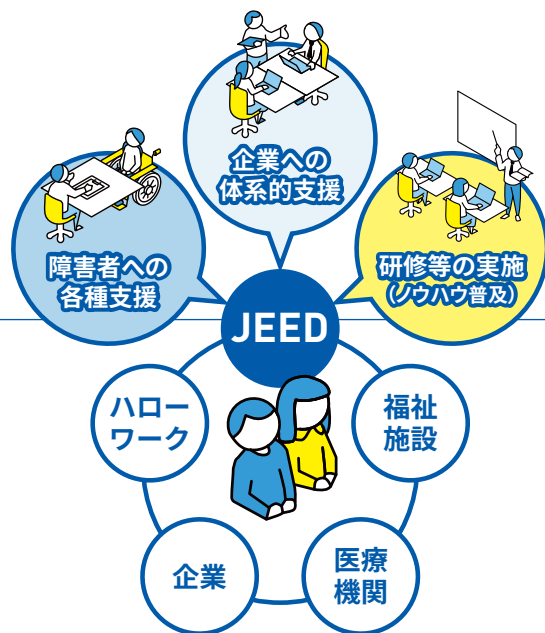
スペシャリスト

INTERVIEW

障害者職業カウンセラー職



障害者職業 カウンセラー職



地域の障害者雇用支援における中核人材

障害者職業カウンセラー職は、地域障害者職業センターを利用する障害者のニーズの把握や障害の特性などについて整理を行い、職業準備支援・ジョブコーチ支援・リワーク支援など、安定して働き続けられるよう各種支援を実施します。企業に対しては障害者の雇い入れ態勢や職務の選定方法に関する助言など体系的に支援しています。地域の関係機関と連携して個別に障害者の支援を行うほか、関係機関に対して就労支援技法に関する助言・援助を行う役割もあります。



など詳細はWEBへ



01 支援計画の立案とプログラム提供

地域障害者職業センターを利用する障害者に対して、面談や各種検査等を通じて個別のニーズや障害特性などを整理し、就職活動の進め方を一緒に検討していきます。就職に向けた支援の一つには職業準備支援という通所型のプログラムがあります。日々の作業や面談を積み重ね、障害者が自分の長所や課題を理解できるよう支援します。また、例えば「疲労をため過ぎないようにペース配分を決める」など、課題への対処方法を相談したり、「慣れるまでは手順を分けて段階的に教えていただきたい」など、企業へ希望する配慮の内容と一緒に整理することもあります。支援している障害者から「希望する仕事に就職することができました」とうれしそうに報告をいただくときは、とても喜ばしく感じる瞬間です。



02 企業への助言など

企業へ支援を行う場合は、ジョブコーチ支援のように個々の障害者の職場定着についての支援を提案することもありますし、企業の従業員に対して障害者へのわかりやすい指示の出し方などの研修を提案することもあります。助言をするときには、先輩が同業他社の事例をたくさん調べているのを見て、自分でも取り入れるなど工夫をしています。企業の担当者から「安心して障害者雇用を進めることができました」と、お礼の言葉をいただくこともあり、励みになっています。



03 職場適応に役立つ支援ツールのとりまとめ

現在勤務している障害者職業総合センターでは、職業リハビリテーションに関する支援技法の開発を行っています。開発した支援ツールや支援技法は、実践報告書や支援マニュアルとしてとりまとめ、JEEDの開催するイベントで発表を行ったり、JEED内外の各種研修を通じて普及に努めています。受講者が支援技法のポイントを習得できるように資料を作成し研修を行っています。



初任給モデル

大卒22歳、全国型で採用され、千葉県千葉市で勤務、賃貸住居に居住した場合の障害者職業カウンセラー職の初任給モデルは右記の通りです。(2026年4月新規採用者(大卒)の例)





ものづくり人材を育てる

プロフェSSIONナル

INTERVIEW

職業能力開発職



職業能力開発職

職業能力開発職は、早期再就職を目指す求職者やスキルアップを目指す在职者、生産技術・管理部門のリーダーを目指す高校卒業者などを対象に、ものづくりの技能・技術を習得するための職業訓練（ハロートレーニング）を実施します。

※JIEDの職業訓練指導員（テクノインストラクター）になるには『職業訓練指導員免許』が必要です（取得見込を含む）。

3つの職業訓練

職業能力開発職は、求職中の方の早期再就職を目指す「離職者訓練」、企業の従業員を対象とした「在職者訓練」、高度なものづくりを支える人材の育成を目的とした「高度技能者養成訓練」を実施し、地域の産業界におけるものづくり人材を育成しています。



など詳細はWEBへ



01 離職者訓練の講師

JIEDで実施している離職者訓練は、再就職を目指す方を対象とした標準6カ月間の職業訓練です。業界未経験の方にもわかりやすく技能・技術を伝えるため、テキストの作成や実習の事前練習など、入念な準備が欠かせません。受講者に思うように伝わらないこともありますが、積極的にコミュニケーションを重ね、丁寧に疑問を解消していきます。「先生、できたよ!」という受講者の声を聞ける瞬間が、この仕事の一番のやりがいです。



02 再就職を目指した就職支援

離職者訓練の受講者にとっての最終目標は再就職です。そのため、私たち職業能力開発職は技能習得の支援だけでなく、就職に向けたサポートも重要な役割の一つです。受講者の希望職種と求人とのミスマッチなど、思うように就職活動が進まない場面も少なくありません。そのミスマッチを解消し、より本人の希望に沿った就職を実現するため、定期的に面談を行い、受講者の将来への希望や現在の不安を丁寧に聞き取りながら、一人ひとりに寄り添った支援を心がけています。



03 事業主に対する人材育成支援

JIEDの人材育成支援は、職業訓練の実施だけでなく、企業の課題に応じた人材育成プランの提供も行っています。企業訪問を通じて課題を把握し、業務に必要なスキルを整理・分析、育成目標の設定、人材育成計画を事業主へ提案します。そして、人材育成計画に基づいた在職者訓練を実施することで、企業の人材ニーズに応える支援へとつなげていきます。企業の成長、ひいては地域のものづくりを人材面から支える、とてもやりがいのある仕事です。



初任給モデル

大卒22歳、千葉県千葉市で勤務、賃貸住居に居住した場合の職業能力開発職の初任給モデルは右記の通りです。

(2026年4月新規採用者(大卒)の例)

俸給 275,700 円	+	地域手当 35,841 円	+	家賃補助 28,000 円
---------------------------	---	----------------------------	---	----------------------------



など詳細はWEBへ



日本の障害者職業訓練を
先導する専門職

障害者職業訓練職

INTERVIEW

障害者職業訓練職

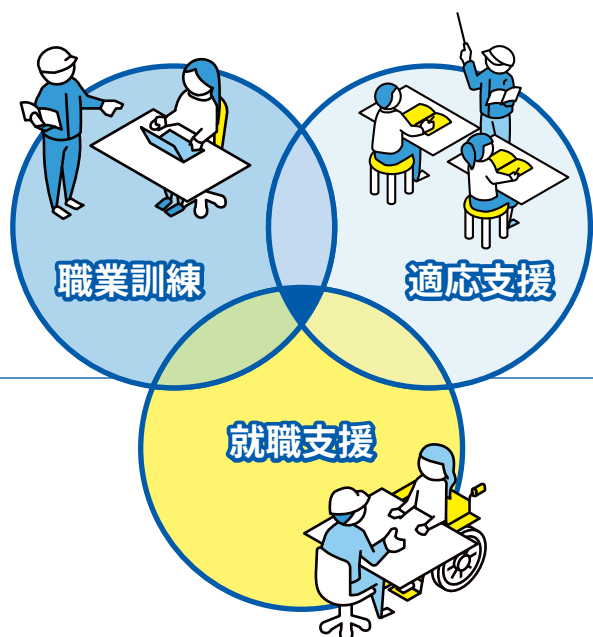


障害者職業訓練職は、就職や職場復帰を目指す障害者(重度の視覚障害者、上肢障害者、精神障害者など、職業訓練を行ううえで特別な支援を必要とする障害者)に対して、職業訓練(ハロートレーニング)を実施します。

※JEEDの職業訓練指導員(テクノインストラクター)になるには『職業訓練指導員免許』が必要です(取得見込を含む)。

多面的な支援で障害者の就職を目指す職業訓練の担い手

障害者職業訓練職は、障害のある方に対して、個々の状態や特性に応じた指導を提供し、職業的自立を目指した技能指導を行う専門職です。技能の習得のほか、職業適応力の向上や就職に向けた支援を、ほかの専門職と連携して行います。



01 障害者職業訓練の対応

障害者職業訓練は、訓練受講者の障害特性やその日の体調に合わせて、訓練受講者個人のペースで受講できる個別訓練を実施しています。また、障害特性に対応する治具の作成やトラックボール使用の提案などを行い、作業を行いやすくするための工夫を訓練受講者と一緒に考えます。職業訓練を通じて、訓練受講者が仕事に対する対応法を身につけ、自身の理想の就職ができた報告を聞くと、この仕事をやってよかったと思います。



02 訓練受講者との面談

訓練受講者と面談を行い、訓練に対する悩みや不安、障害特性から起こり得る日常生活における困りごとを聞き取り、必要に応じてアドバイスを行います。相談内容は障害者職業カウンセラー職や社会生活指導員と共有し、職員間でそれぞれの知識や経験を持ち寄り、協力しながら、訓練受講者の問題解決へつなげていきます。



03 オープンキャンパスの対応

障害者職業訓練の受講を検討している方を対象に、定期的にオープンキャンパスを実施しています。オープンキャンパスでは、実際の訓練環境で希望した訓練科の訓練内容を体験していただけます。訓練受講にあたって、個人の障害特性に応じた訓練系や訓練で実施する適応支援(自身の障害特性と自己管理・対処方法を整理することで職場への適応を目指す)などの紹介を行い、訓練受講にあたっての不安や疑問の解消に努めています。



初任給モデル

大卒22歳、埼玉県所沢市で勤務、賃貸住居に居住した場合の障害者職業訓練職の初任給モデルは右記の通りです。

(2026年4月新規採用者(大卒)の例)

俸給	+	地域手当	+	家賃補助
275,700 円		22,056 円		28,000 円



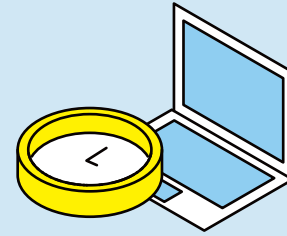
職員数^(※1)

7,000名



年間予算^(※1)

1,400億円



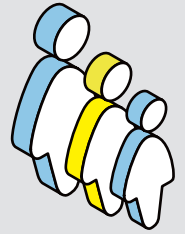
月平均残業時間^(※2)

6.5時間



平均有給休暇取得日数^(※2)

14.2日

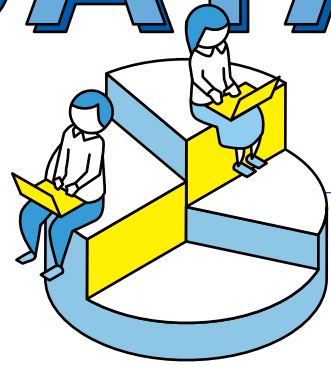


職員平均年齢^(※1)

41.9歳

DATA of JEEED

データでみるJEEED

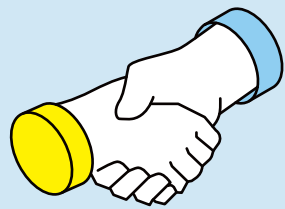


[待遇・福利厚生]の
詳細はWEBへ



男性の育児休業等取得率^(※2)

90%



入構3年後定着率^(※1)

93%



全国施設数

143施設



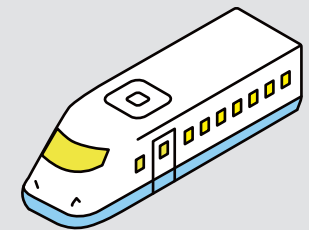
モデル月給^(※3)

[事務職全国型採用(大卒)の場合]

[22歳係員] 242,000円

[35歳本部係長] 367,024円

[50歳本部課長] 595,849円



通勤手当(月額最大)

15万円

※1:2025年度実績 ※2:2024年度実績 ※3:2026年4月採用以降(予定)



47
カ所



都道府県支部

高齢者雇用に関する相談・援助、高齢者・障害者雇用に関する助成金の支給、障害者雇用納付金の受付、地方アビリンピックの開催などの啓発業務、求職者支援訓練の実施を希望する機関への相談援助、訓練計画の受理・審査および訓練実施の助言などのほか、各都道府県内におけるJEED業務の総合調整や経理などの管理事務を行っています。

52
カ所



地域障害者職業センター

求職中・在職中・休職中の障害者を対象に、職業相談・職業評価、職業準備支援、ジョブコーチ支援、リワーク支援などの職業リハビリテーションサービスの提供、障害者雇用に取り組む企業などを対象に、障害者の雇用管理に関する相談・援助、また、障害者の就労支援を行う関係機関などを対象に、職業リハビリテーションに関する技術的な助言・援助や研修などを行っています。

63
カ所



職業能力開発促進センター 訓練センター

【通称】ポリテクセンター

求職者(離職者)を対象に、早期再就職に必要な技能・技術、関連知識を習得するための職業訓練(離職者訓練)や、在職者を主な対象に、仕事に必要な専門知識および技能・技術の向上を図るための職業訓練(在職者訓練)、企業などを対象に、人材育成に関する相談、職業訓練指導員の派遣、施設設備の貸し出しなどを行っています。

北海道ブロック(8施設)

北海道

東北ブロック(23施設)

青森・岩手・宮城・
秋田・山形・福島

関東ブロック(32施設)

茨城・栃木・群馬・埼玉・
千葉・東京・神奈川・山梨

北陸ブロック(19施設)

新潟・富山・石川・福井・長野

東海ブロック(17施設)

岐阜・静岡・愛知・三重

近畿ブロック (25施設)

滋賀・京都・大阪・
兵庫・奈良・和歌山

中国ブロック(20施設)

鳥取・島根・岡山・広島・山口

四国ブロック(14施設)

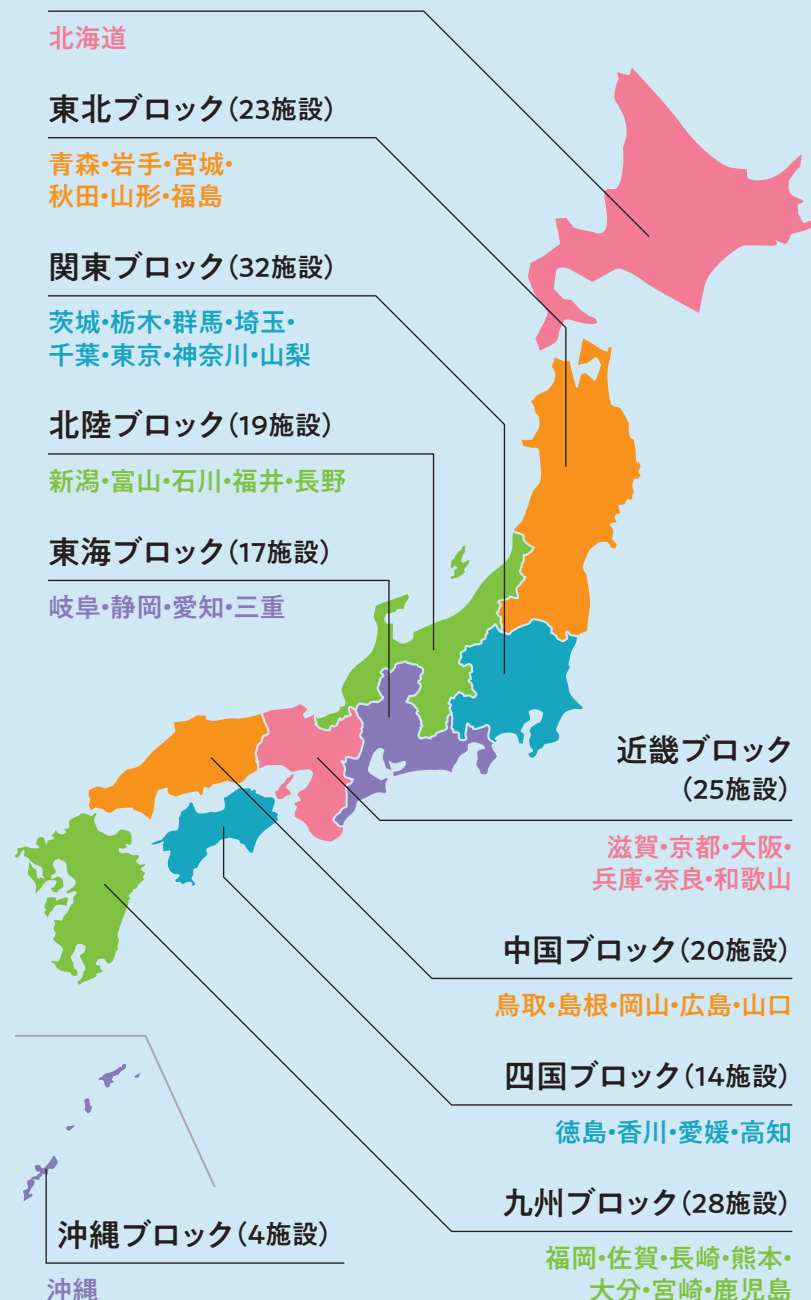
徳島・香川・愛媛・高知

九州ブロック(28施設)

福岡・佐賀・長崎・熊本・
大分・宮崎・鹿児島

沖縄ブロック(4施設)

沖縄



25
カ所



職業能力開発大学校 職業能力開発短期大学校

【通称】ポリテクカレッジ

高校卒業者などを対象に、技術革新に対応できる高度な知識と技能・技術を兼ね備えた実践技能者(テクニシャン・エンジニア)の育成、産業界や地域のニーズに応じて、新製品の開発、生産工程の構築などに対応できる将来の生産技術・生産管理部門のリーダーとなる人材の育成を行っています。

2
カ所



広域障害者職業センター 障害者職業能力開発校

- 国立職業リハビリテーションセンター
- 国立吉備高原職業リハビリテーションセンター

障害者職業センターと障害者職業能力開発校の機能を併せ持ち、全国から職業訓練上特別な支援を要する障害者を受け入れ、医療との連携を図りながら職業評価、職業指導、職業訓練などの職業リハビリテーションサービスを提供しています。

1
カ所



職業能力開発総合大学校

【通称】PTU

日本全体の職業訓練の基盤整備と質の維持・向上を図るため、職業訓練指導員(テクノインストラクター)の養成および技能向上のための訓練、職業能力開発に関する調査・研究、高度技能者などの養成などを行っています。